

早鞆中学校便り

学力特集号

平成29年11月 日
北九州市立早鞆学校

平成29年度 全国学力・学習状況調査の結果の報告と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、平成29年4月18日(火)に、3年生を対象として、「教科(国語、数学)に関する調査」と「生徒質問紙調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

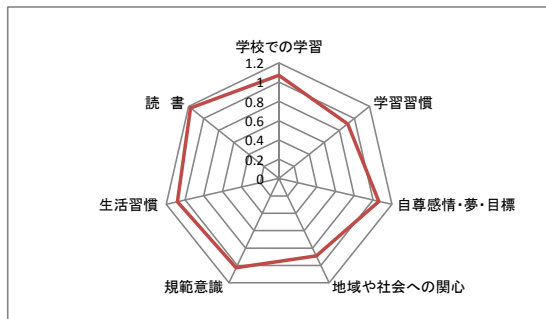
学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にさせていただきたいと思います。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

1. 教科に関する調査結果の概要

教科・区分	学力調査の分析(傾向や特徴)	全国平均正答率との比較
国語A	・全体的にはやや全国平均を下回っていたが、書くことに関する問題の正答率が高かった。	下回っている
国語B	・全体的にやや全国平均を下回っていた。短答式の問題の正答率は高かったが、言語に関する知識・理解・技能に関する問題に課題がある。	下回っている
数学A	・どの領域においても全国平均を上回っていたが、図形や関数の領域では課題がある。	上回っている
数学B	・全体的に全国平均を下回っていた。しかし、無回答率を比較すると全体的に低く、記述式の問題でも解答しようという意識がみられた。	下回っている

2. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要



質問紙調査の結果分析

- ・学習習慣の中でも家庭学習を1日当たり60分以上行うと回答した生徒の割合が少なかった。
- ・テレビゲームを1日に60分未満と回答した生徒の割合が増加した。
- ・将来の夢や目標を持っている生徒の割合が増加し、全国を上回った。

3. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科に関する取組(全校で・学年で・学級で)

- 授業では、「めあて」「まとめ」を提示し、「話し合う活動」など生徒が主体的に活動する場面を積極的に取り入れていく。
- プリントや板書などで学習内容を整理し、まとめていくことで生徒へ学習内容の定着を行っていく。
- アシストシート・活用力を高めるワーク等を活用していく。

② 家庭生活習慣等に関する取組

- 早鞆ノートを作成し、家庭学習を行う生徒が増加してきているので、今後も継続して取り組んでいきたい。
- 学校便りや学級通信・学校ホームページ等で、全国学力・学習状況調査の結果の分析等を保護者へ周知・徹底し、家庭との協力体制をつくり、家庭学習に取り組んでいく。